

# 特定のデジタル音声ポートへの発信 VoIP コールのマッピング

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[特定のDS0グループのT1の設定](#)

[H.323ゲートウェイ着信ダイヤルピアの設定](#)

[H.323 ゲートウェイ トランスレーション プロファイルの設定](#)

[トランスレーション ルールの設定](#)

[発信ダイヤルピアの設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[トラブルシューティングのためのコマンド](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、コールを発信した IP フォンの発信者番号に基づいて特定の DS0 ポートを使用して公衆電話交換網 (PSTN) にコールをルーティングするようにアナログ H.323 ゲートウェイを設定する方法について説明します。通常、アナログ ゲートウェイに送信されるコールは、ハント方式を使用してゲートウェイからコールをルーティング必要がありますが、このとき発信コールをルーティングするためにどの DS0 ポートを選択するかについては考慮されません。多くの場合、特定の DS0 ポートを特定の IP フォンの番号に関連付けることで、ポートをランダムに、または「最小のアイドル状態」のようなハント方式に基づいて選択するのではなく、発信コールが特定の DS0 ポートだけを使用するようにすることが推奨されます。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco CallManager 3.x
- Cisco IP フォン
- アナログゲートウェイ(2600、3600、1700、IAD 2400)注：Cisco IOS®ソフトウェアリリース12.2(11)T以降を実行している必要があります。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## [表記法](#)

ドキュメントの表記法の詳細は、「[シスコテクニカルティップスの表記法](#)」を参照してください。

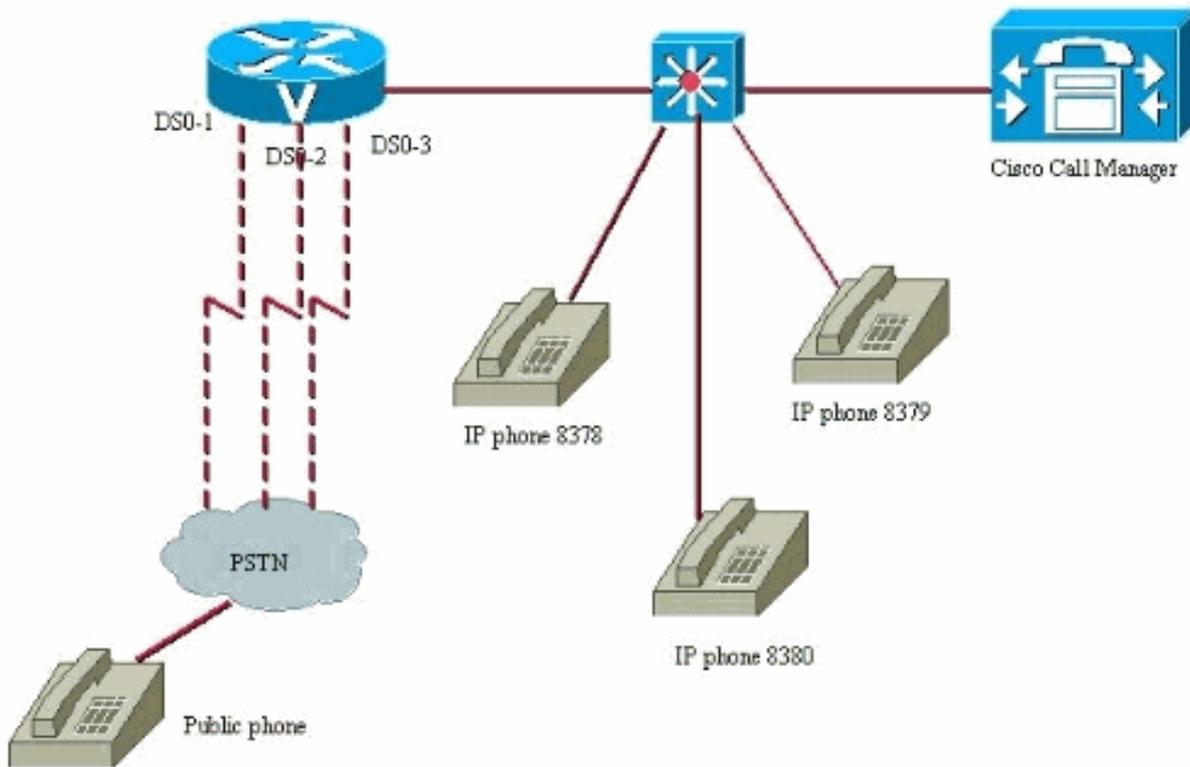
## [設定](#)

このセクションでは、このドキュメントで説明する機能を設定するために必要な情報を提供しています。

注：この文書で使用されているコマンドの詳細を調べるには、「Command Lookup ツール」を使用してください（登録ユーザのみ）。

## [ネットワーク図](#)

このドキュメントでは、次の図で示されるネットワーク設定を使用しています。



## 特定のDS0グループのT1の設定

### コンフィギュレーション

```
controller T1 1/0
 framing esf
 linecode b8zs
 ds0-group 1 timeslots 1 type e&m-wink-start
 ds0-group 2 timeslots 2 type e&m-wink-start
 ds0-group 3 timeslots 3 type e&m-wink-start
```

## H.323ゲートウェイ着信ダイヤルピアの設定

ゲートウェイの着信ダイヤルピアは、Cisco CallManager IP Phoneから特定のDS0ポートへの発信コールを受け入れます。

### コンフィギュレーション

```
dial-peer voice 1 voip
 translation-profile incoming DS01
 answer-address 8378
 !--- A call from IP phone 8378 matches this dial-peer.
 !--- The answer-address matches the ANI of the calling
 party. dial-peer voice 1 voip translation-profile
 incoming DS02 answer-address 8379 dial-peer voice 1 voip
```

## H.323 ゲートウェイ トランスレーション プロファイルの設定

これらのトランスレーションプロファイルは、着信コールレグに一致する着信VoIPダイヤルピアによってトリガーされます。特定のDS0ポートを使用してコールの発信をルーティングできるように、着信番号番号ストリームの先頭に番号を付加するトランスレーションルールが要求されます。

### コンフィギュレーション

```
voice translation-profile DS01
  translate called 1
!
voice translation-profile DS02
  translate called 2
!
voice translation-profile DS03
  translate called 3
```

## トランスレーション ルールの設定

トランスレーションルールは、トランスレーションプロファイルを使用して、Cisco CallManagerから送信されたデジタルストリームに個別のデジタルストリームをプレフィクス付けします。ルータは、発信者番号に基づいて特定の着信ダイヤルピアを照合します。この設定では、Cisco CallManagerで、デジタルゲートウェイを介してネットワークにダイヤルアウトするルートパターンが9であることを前提としています。

これは、トランスレーションルールの外観です。これらは、Cisco IOSソフトウェアリリース 12.2(11)T以降で使用される新しいタイプの変換ルールです。

### コンフィギュレーション

```
voice translation-rule 1
  rule 1 /^9/ /19/
!
voice translation-rule 2
  rule 1 /^9/ /29/
!
voice translation-rule 3
  rule 1 /^9/ /39/
```

これらのルールは、数字ストリームの先頭に数字をプレフィクスとして付けます。これにより、特定の発信POTSダイヤルピアを照合できます。

## 発信ダイヤルピアの設定

これは、発信POTSダイヤルピアの外観です。最終的には、ルータに着信する特定の番号xのコールがルータによって検出されます。次に、トランスレーションプロファイルがトリガーされ、トランスレーションルールが実行されて、デジタルストリームの先頭に一意のデジタルがプレフィクス付けされます。これで、このルータは、特定のDS0ポートから特定のIP Phoneから特定のコールを送信できるようになります。各IP Phoneには、独自のDS0ポートが関連付けられますが、他のIP Phoneでは使用できません。これは基本的に、デジタルDS0ポートをCisco

CallManagerの特定のIP Phoneに「マッピング」します。

## コンフィギュレーション

```
dial-peer voice 19 pots
 destination-pattern 19T
 translate-outgoing called 1
 port 1/0:1

dial-peer voice 29 pots
 destination-pattern 29T
 translate-outgoing called 2
 port 1/0:2
!
dial-peer voice 39 pots
 destination-pattern 39T
 translate-outgoing called 3
 port 1/0:3
```

発信コールが行われると、ルータは元のディジットストリームの先頭にディジットプレフィックスを持つ新しい変換後の着信番号に基づいてダイヤルピアを選択できます。この変換を行わないと、ルータは特定のDS0ポートを選択して発信コールを送信できなくなります。ルータのデフォルト動作は、定義されたハントグループの順序に基づいてコールをルーティングします。

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに使用できる情報を示します。

### トラブルシューティングのためのコマンド

一部の show コマンドは[アウトプット インタープリタ ツールによってサポートされています \( 登録ユーザ専用 \)](#)。このツールを使用することによって、show コマンド出力の分析結果を表示できます。

注：debug コマンドを使用する前に、「[debug コマンドに関する重要な情報](#)」を参照してください。

- **show dialplan number 8378**：特定の番号に一致するダイヤルプランがあることを示します ( この場合 )。8378。
- **debug voip ccapi inout**：変換プロファイルに一致する場合、コールの進行状況を表示して、適切なforeign exchange station(FXS)ポートが選択されているかどうかを確認します。

トラブルシューティングの詳細については、『[VoIPコールのトラブルシューティングとデバッグの基本](#)』を参照してください。

## 関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)

- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)